

(様式1)

平成17年度 事務事業評価表

記入年月日	平成17年4月25日		記入者		内線	2279
部名	総務部	課名	職員厚生課		課長名	田所恒男
事務事業名	職員会館維持管理事業					
予算上の事務事業名	職員会館維持管理費					
1 総合計画における位置づけ			施策コード			
基本目標						
政策名						
基本施策名						事業開始年度
施策名						平成10年度 ▼
2 実施根拠及び関連法令・条例等	地方公務員法第42条、労働安全衛生規則第44条・第613条・第618条、相模原市職員会館管理運営要綱					
3 個別計画の概要			概要			
計画名						
計画年次		年度～		年度		
4 事業形態の区分			維持・管理・補修	▼		
5 事業概要						
(1) 事業の目的(何のために行うのかまたはもたらしたい成果)						(2) 対象(誰、何)
職員会館は市職員の健康管理、元気回復および生活支援のための拠点施設として位置付けられ、職員の福利厚生を増進するために必要不可欠な施設である。福利厚生を増進させることにより、職員の勤労意欲および公務能率を向上させ、しいては市民サービスの充実を図ることを目的とする。 また、災害時には災害活動に従事する職員の待機・休憩場所としての役割も担っている。					職員	
(3) 平成16年度事業の内容(活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容(活動)なのか。						
職員の勤労意欲と健康の増進を図り、親しみやすい施設となるよう管理・運営をおこなった。 また、災害時等の対応にむけた保守・点検を実施した。						
総事業費	36,614千円					
需要費	10,812千円(電球等消耗品の購入、電気・水道・ガスなどの光熱水費、施設修繕料)					
役務費	10千円					
委託料	25,669千円(管理業務委託・清掃業務委託など)					
使用料および賃借料	123千円(下水道使用料、玄関マット・植木賃借料)					
6 関連・類似事業や他市の状況	なし					
7 事業費の推移						[単位:千円]
年度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)	
事業費	36,119	36,644	36,612	40,266	40,266	
一般財源	32,992	32,779	32,748	36,547	36,547	
受益者負担金	3,126	3,849	3,853	3,689	3,689	
その他の特定財源	1	16	11	30	30	
人件費の合計	839	801	807	807	807	
事業コスト合計(a)	36,958	37,445	37,419	41,073	41,073	
8 事業効率・・・(複数の事業で構成されている場合は、その中の主たる事業)						
主たる事業名	職員会館維持管理費			対象名称(単位)	利用者数	
年度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)	
事業コスト(主たる事業)	36,958	37,445	37,419	41,073	41,073	
対象数	269,134	255,949	266,006	266,006	266,006	
単位あたり経費(円)	137	146	141	154	154	
前年度比		1.07	0.96	1.10	1.00	

9 活動指標・・・実施した内容（活動）の数値化						
指標名 (単位)	利用人数（人）		指標式と指標の説明	利用者数		
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度（目標）	
実績	269,134.0	255,949.0	266,006.0			
目標	269,134.0	269,134.0	269,134.0	270,000.0	270,000.0	
目標達成度	1.00	0.95	0.99			
10 成果指標・・・対象と意図の達成度を表す指標						
指標名 (単位)	利用者増減率		指標式と指標の説明	平成14年度を100とした場合の当該年度の割合（％）		
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度（目標）	
実績	100.0	96.4	94.2			
目標	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	
目標達成度	100.0	96.4	94.2			
11 個別評価						
(1) 妥当性の評価 【A：妥当である・B：妥当性に課題がある・C：妥当でない】						
B	<input type="checkbox"/>	法令等により実施することが義務付けられている。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	法令等に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。				
	<input type="checkbox"/>	公益性が高い、または必需性が高い事業である。				
	<input type="checkbox"/>	将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。				
(2) 有効性の評価 【A：有効である・B：有効性を高める余地がある・C：有効でない】						
B	<input type="checkbox"/>	上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。				
	<input type="checkbox"/>	課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。				
(3) 効率性の評価 【効率が良い・B：効率性を高める余地がある・C：効率が悪い】						
B	<input type="checkbox"/>	単位あたりの経費は適正である。				
	<input type="checkbox"/>	これ以上コスト節減の余地がない。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	受益者負担や補助等の割合に問題はない。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業の実施方法や実施体制は適正である。				
(4) 民間活力の導入の可能性 【有・無】						
無	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が経費の節減に繋がる。				
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が技術・知識面で優れている。				
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方がサービス面で優れている。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	民間では実施していない、または市が実施する方が優れている。				
12 総合評価						
(1) 自動判定結果						
	〔 〕：良好な状態を維持する事業					
	〔 〕：概ね良好な状況である事業					
	〔 〕：見直しを行う必要がある事業					
	〔 〕：抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業					
(2) 担当課の課長による評価（今後の方向性）			(3) 課長の評価に関する説明			
現状維持	<input type="checkbox"/>	拡充・充実		福利厚生の拠点施設としての役割を十分に果たしていることから、事業としての総合評価も良好であり、今後も継続していくべき事業である。		
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持				
	<input type="checkbox"/>	見直し				
	<input type="checkbox"/>	廃止				
13 成果の向上及び効率性を高めるための方策			14 課題として認識されたこと			
更なる利用率の向上を図ることが課題である。また、予算的には管理運営費がほとんどであり、より効果的な運営により、費用の削減を図っていかねばならない。			省エネ徹底による光熱水費の削減。施設や備品の適正な管理・利用による、修繕費の削減などを図っていく。			
15 二次評価						
(1) 行政評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント			
現状維持	<input type="checkbox"/>	拡充・充実				
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持				
	<input type="checkbox"/>	見直し				
	<input type="checkbox"/>	廃止				